

平成27年度 第10回（震災後 第62回）

陸前高田市保健医療福祉未来図会議 次第

平成28年1月22日(金) 13:30～15:30

陸前高田市役所 4号棟第6会議室

## ◆テーマ

「陸前高田市の未来に向けて、健康総合計画確認の最後のチャンス！  
(市健康総合計画にかかる未来図会議パブリックコメント)」

### 1 あいさつ

陸前高田市 民生部長 菅野利尚

### 2 報告・協議内容

(1) 健康総合計画 はまって かだつて つながつて ～みんなで輝く陸前高田～  
健康りくぜんたかた 21プラン（第2次）及び母子保健計画の概要について

⇒ 陸前高田市 健康推進課 課長補佐 尾形良一

(2) 食育推進基本計画の概要について

⇒ 陸前高田市 健康推進課 栄養士

(3) 健康総合計画における地区別計画の概要について

⇒ 陸前高田市 健康推進課 保健師

(4) 健康総合計画、母子保健計画、食育推進基本計画が目指すこと

⇒ 陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也

(5) 意見交換（未来図会議 パブリックコメント）

⇒ 質問や意見、気がついた点、不明な点等のディスカッション

例) 文章の表現方法、図表の作成方法、地域で行なうこと、評価方法 etc…

### 3 その他連絡・アナウンス

(1) 認知症高齢者、自殺予防の対応について（旭神経内科リハビリテーション病院）

(2) 陸前高田災害 FM 新健康番組「はまってけらいん、かだつてけらいん」

【事務局：陸前高田市民生部】

※次回：平成28年2月19日（金）13：30～15：30

◆メインテーマ（仮）：他人ごと意識の解消～今ある差別・虐待とこれからの配慮～

◆会場：市役所第4号棟第6会議室

# 平成27年度 第10回 (震災後62回) 陸前高田市 保健医療福祉未来図会議

平成28年1月22日(金) 13:30~15:30  
陸前高田市役所 4号棟第6会議室

## 本日(H28.1/22)の会議の概要

### ◆テーマ

陸前高田市の未来に向けて、健康総合計画  
確認の最後のチャンス!

市健康総合計画にかかる未来図会議  
パブリックコメント

## 本日(H28.1/22)の会議の進め方①

### ◆タイムスケジュール ~14:15 報告

- (1) 健康総合計画 はまって かだって つながって  
~みんなで輝く陸前高田~健康りくぜんたかた21プラン  
(第2次)及び母子保健計画の概要について  
⇒ 陸前高田市 健康推進課 課長補佐 尾形良一
- (2) 食育推進基本計画の概要について  
⇒ 陸前高田市 健康推進課 栄養士
- (3) 健康総合計画における地区別計画の概要について  
⇒ 陸前高田市 健康推進課 保健師
- (4) 健康総合計画、母子保健計画、食育推進基本計画が目指すこと  
⇒ 陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也

## 本日(H28.1/22)の会議の進め方②

### ◆タイムスケジュール ~15:00 協議

- (5) 意見交換(未来図会議パブリックコメント)  
⇒ 質問や意見、気がついた点、不明な点等のディスカッション  
例) 文章の表現方法、図表の作成方法、地域で行なうこと  
評価方法etc...

### ~15:30 個別アナウンス・周知

- (1) 認知症高齢者、自殺予防の対応について(旭神経内科リハビリテーション病院)
- (2) 陸前高田災害FM 新健康番組「はまってけらいん、かだってけらいん」
- (3) その他



健康総合計画(案)

はまって かだって つながって  
～みんなで輝く陸前高田～

健康づくりたかた21プラン(第2次)  
母子保健計画  
食育推進計画

2016年(平成28年)～2022年(平成35年)

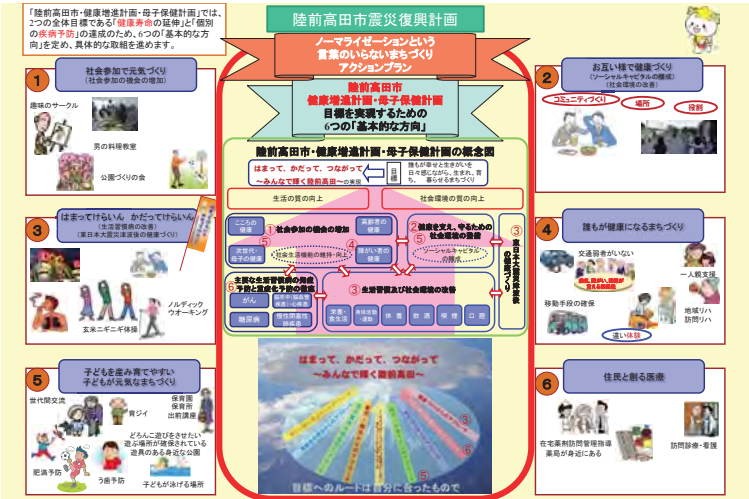


陸前高田市

が目指すこと

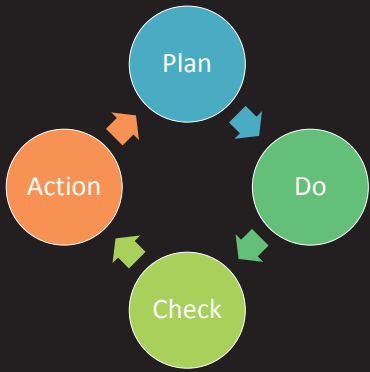
目次

1. 健康づくりの意義	1
2. 健康づくりの現状と課題	2
3. 健康づくりの目標	3
4. 健康づくりの重点分野	4
5. 健康づくりの推進体制	5
6. 健康づくりの推進計画	6
7. 健康づくりの推進施策	7
8. 健康づくりの推進効果	8
9. 健康づくりの推進評価	9
10. 健康づくりの推進展望	10
11. 健康づくりの推進体制	11
12. 健康づくりの推進計画	12
13. 健康づくりの推進施策	13
14. 健康づくりの推進効果	14
15. 健康づくりの推進評価	15
16. 健康づくりの推進展望	16
17. 健康づくりの推進体制	17
18. 健康づくりの推進計画	18
19. 健康づくりの推進施策	19
20. 健康づくりの推進効果	20
21. 健康づくりの推進評価	21
22. 健康づくりの推進展望	22

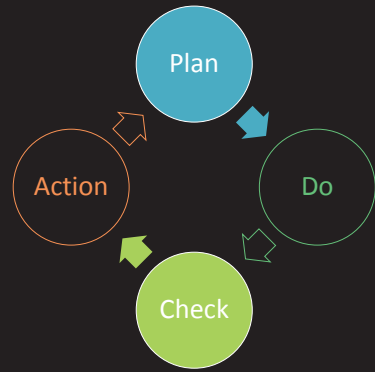


で、どう、計画を評価するか?

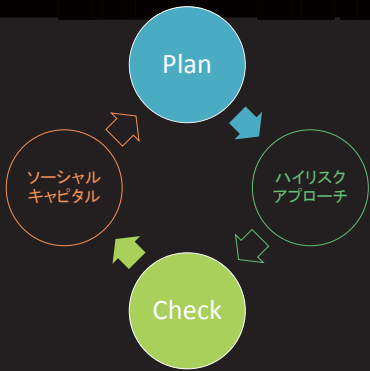
### 「評価」のイメージ



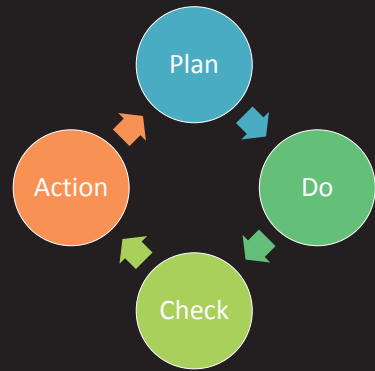
### 国・県が考える「評価」の実際



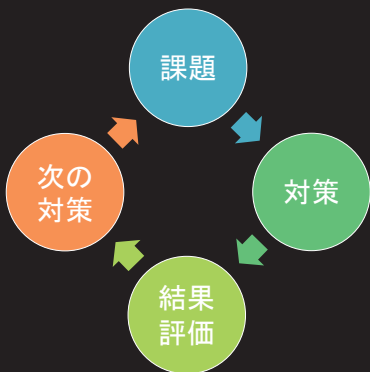
### 国・県が考える「評価」の実際 健康日本21→健康日本21(第2次)



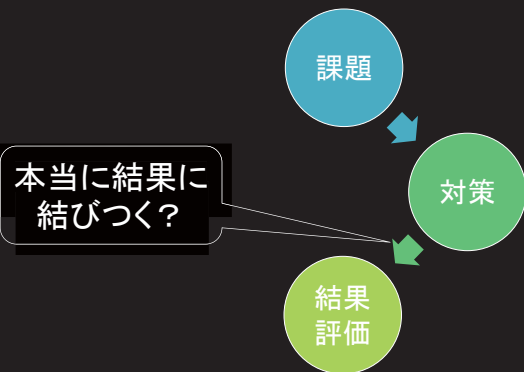
### 市が行う「評価」の実際



### 市が行う「評価」の実際

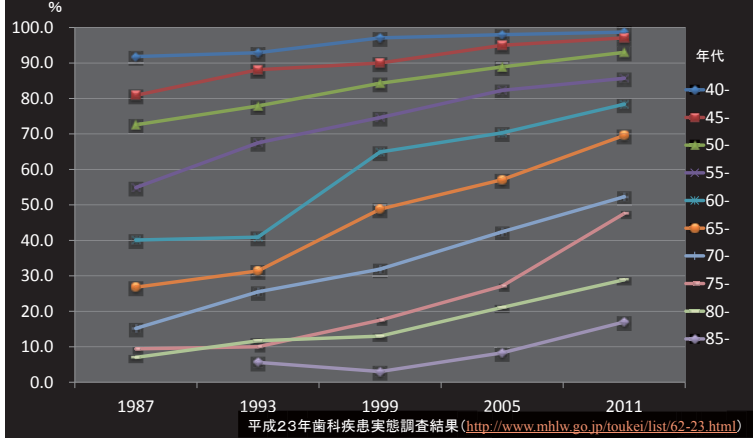


### 市が行う「評価」の実際



# このような場合の 評価は？

## 20本以上の歯を有する者は各年代で増加



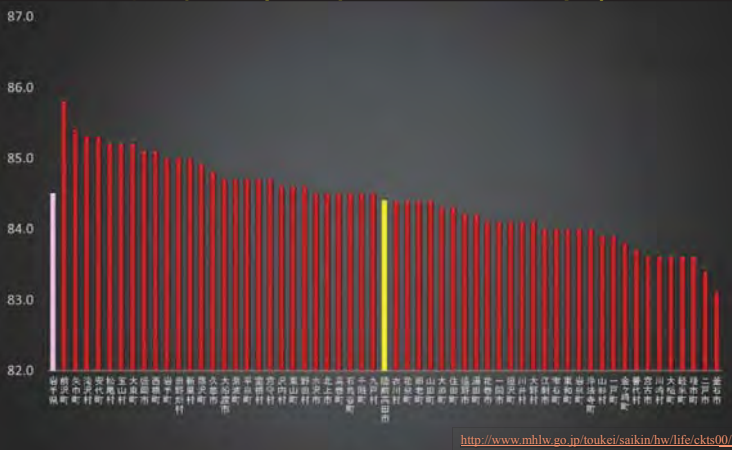
## 市が行う「評価」の実際



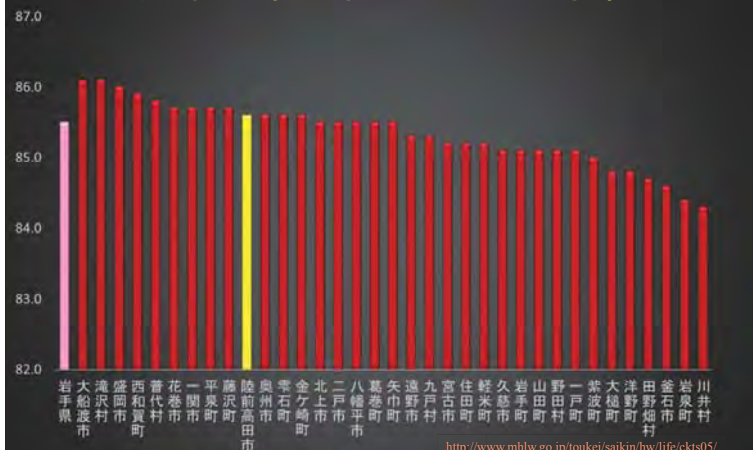
## 平均寿命

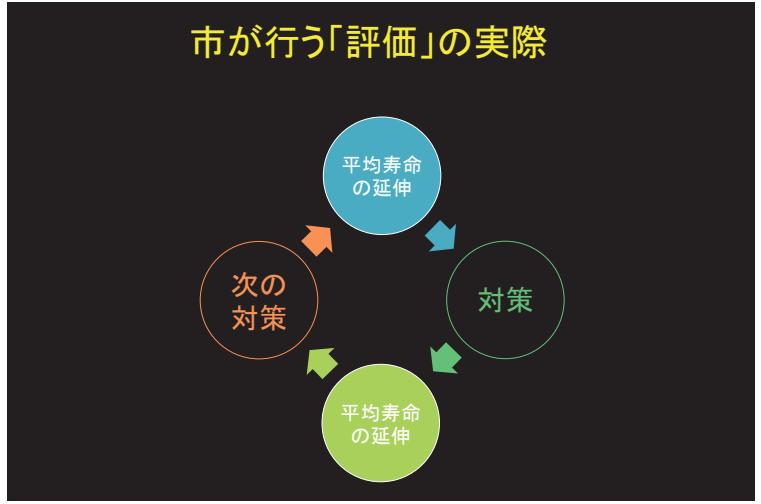
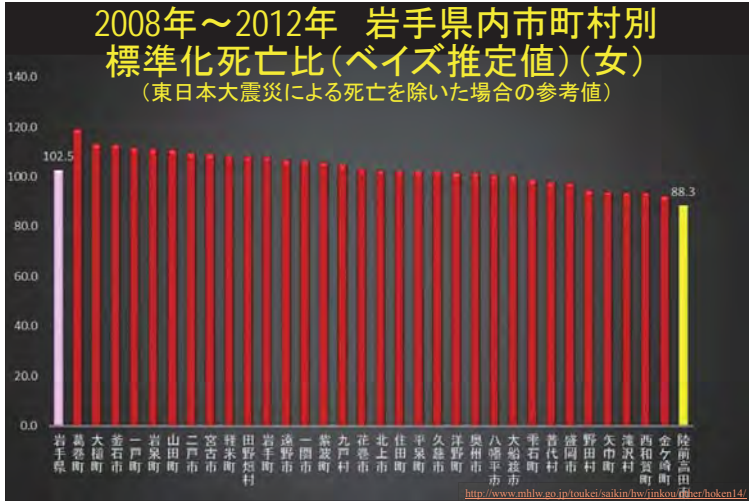
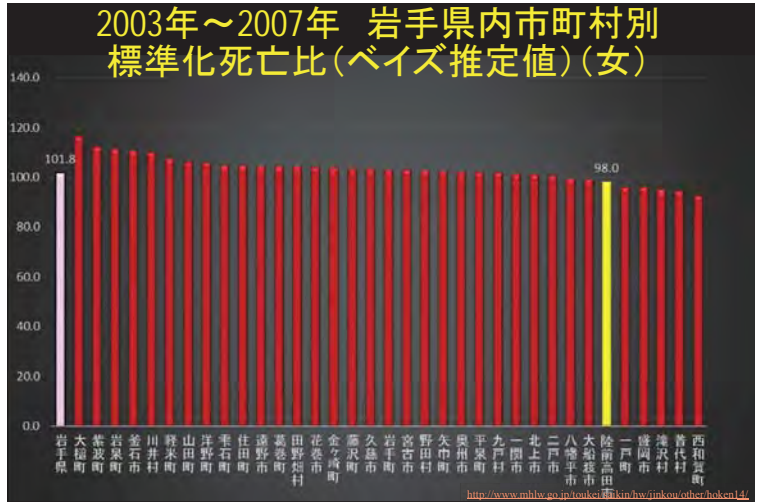
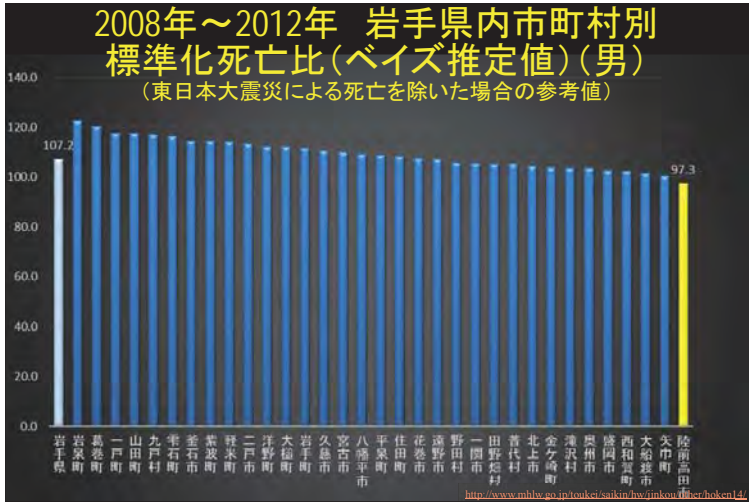
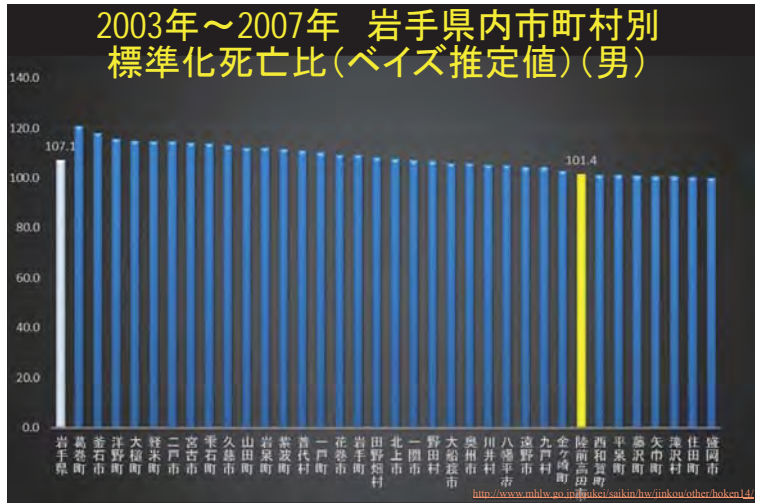
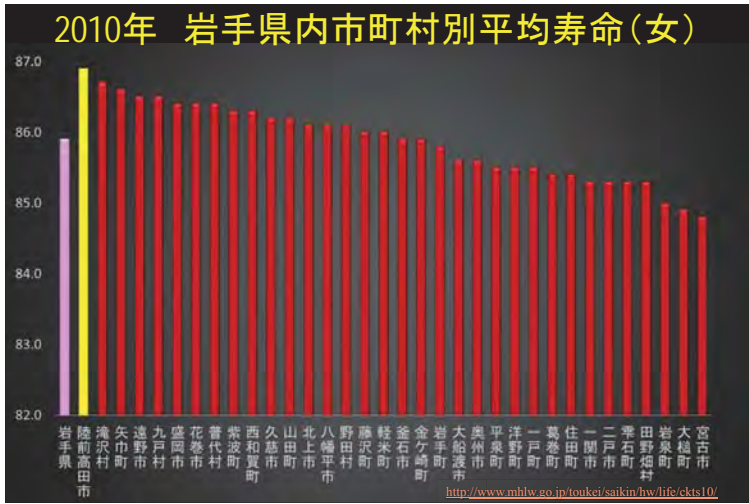
標準化死亡比は  
こうやって延伸！

## 2000年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



## 2005年 岩手県内市町村別平均寿命(女)





## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント①

### ①地区別 P.66(矢作町)

#### (2)対策について

HbA1cとあるが、説明書き欲しい。用語集を作るにしても、いちいち戻るより、このページに説明があるとわかりやすい。

### ②全体を通して

さまざまな図表について、カラーでないとわかりにくいところがある。白黒でもわかりやすいような工夫が必要ではないか。

### ③P.4 図5について

各種計画期間の図だが、小さく、非常に見えにくい。

### ④P.3 図3について

障がい者福祉計画の「がい」の字の言葉の統一が必要。

## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント②

### ⑤用語集の作成について

巻末にでも 索引があれば、言葉を探しやすく、理解が進む。

### ⑥虫歯について

有病者割合だけでなく、一人あたりの数値(本数)も欲しい。

### ⑦肥満児について

肥満児の評価の仕方が異なるので、工夫が必要。

### ⑧食育推進基本計画について

大人になってからの生活習慣病対策は難しいことから、子どもうちからの対策が重要である。小中学生の時期の関わりが重要であり、そのあたりの記載が重要となる。



## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント③

### ⑨P.3 図4について

母子保健計画と、子ども・子育て支援事業計画の図だが、わかりにくい。実際にお母さん方に見てもらおうと思うが、どういう意味があるのか説明をしてほしい。

産み育てやすい環境の整備、暮らしやすい地域であれば、もっと広い範囲を含めた書き方にし、地域全体ではぐくむというイメージとしていく必要があるのではないか。

#### 【事務局回答】

→お母さん方にぜひ見ていただき、ご意見を図に反映してほしい。

## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント④

### ⑩P.3 図4 母子保健計画の図について

言葉をもう少しやわらげるような工夫が必要ではないか。

パートナーという言葉の表現も、なんとなく引っかかる場所がある。さまざまな家庭の形、家族の形があり、母と子というものだけではない。セクシャリティの違いの課題もある。

### ⑪P.3 図3 各種計画と関連図について

ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりアクションプランがありながら、「母子保健計画」という個別の状態を表す言葉と一緒に並ぶことで感じる違和感がある。

そういった違いをなく進めていくのが陸前高田市ではないか。

## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント⑤

### ⑫ P.3 図4 母子保健計画の言葉について

母子保健計画という言葉の使い方自体が古いのではないか。もしくは、今の時代にあわせた表現の仕方が必要ではないか。子どもだけでなく、家庭も職場も地域も、とりまく環境も…含めての産み育てやすい、そんな計画ではないか。

母が元気でなければ産むこともできない。

→ 例) 子育て家庭支援計画? 健やか子ども計画?  
子どもすくすく計画? 子どもきらりん計画?  
子ども健やか計画? すこやか子ども計画?  
地域の宝 子ども計画? 産んでも安心計画?  
みんなで育む子ども計画?

## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント⑥

### ⑬ P.3 図4 母子保健計画の言葉について(つづき)

母子保健計画にかわる言葉、名前について、子どもが中心のネーミングで、地域みんなで育てる、安心して育てられるというイメージが伝わる名前が重要。子育ての計画と重複しないよう母子保健計画の趣旨を持ち、保健という部分で包含できるような名前が必要ではないか。

## 【検討結果の結論】

みんなの子ども計画(母子保健計画)

## 健康総合計画 未来図会議パブリックコメント⑦

### ⑭目標の優先順位と明確化について

陸前高田市として、トータルで明確な目標を立てた方がいい。  
地域、赤ちゃん、妊婦、みんなで目指す明確な目標が必要。  
優先順位はどうなるのか？、何からに取り組むのか。  
例えば、虫歯を減らす？肥満なくす？という目標..。

例)陸前高田市は虫歯ゼロを目指します。

→これにより、子どもの肥満の解消にもつながる

それは、子ども世代だけでなく、家庭、地域に広がっていき、大人の生活習慣病予防にもつながり、糖尿病の減少、予防にもつながっていくことが期待できる。

## 陸前高田市保健医療福祉未来図会議 メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

[https://docs.google.com/forms/d/1ZVNHASz2jLrZp\\_YAStool-e-u6p6E7FmN8F9\\_a1hBxxA/viewform?c=0&w=1](https://docs.google.com/forms/d/1ZVNHASz2jLrZp_YAStool-e-u6p6E7FmN8F9_a1hBxxA/viewform?c=0&w=1)

### 陸前高田市保健医療福祉未来図会議 参加希望申し込みサイト

未来図会議への参加をご希望される方はここから申し込んでください。

\*必須

氏名\*

メールアドレス\*

## 次回(平成27年度第11回)未来図会議予定

### ◆日時

平成28年2月19日(金)13:30~15:30

◆メインテーマ(仮):他人(ひと)ごと意識の解消  
~今ある差別・虐待とこれからの配慮~

◆会場:陸前高田市役所第4号棟第6会議室

### ◆次々回(平成27年度第12回)

平成28年3月18日(金)13:30~15:30

## 平成27年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議(月1回)の予定

### ○日程(確定)

H27年:4/10(金)、5/15(金)、6/19(金)、7/24(金)  
8/21(金)、9/18(金)、10/29(木)、  
11/20(金)、12/18(金)

H28年:1/22(金)、2/19(金)、3/18(金)

### ○大きな方向性:「はまってけらいん、かだってけらいん運動」の推進

ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの融合・実践、市民・他分野機関との協働、未来図(計画)策定、居場所づくり、相互の経験に学ぶ

「高齢者支援」「自殺予防」のための取り組みとして、以下の内容で講演を実施致しましたので皆様にご報告致します。

①講演<高齢者のうつ病と認知症への対応>

日時：平成28年1月21日(木) 15:30~17:00  
研修会名：平成27年度第1回 気仙地域保健医療福祉関係者等研修会  
講演者：旭神経内科リハビリテーション病院 院長 旭俊臣  
講演内容：[I] 当院の概要、[II] 認知症、[III] うつ病、[IV] 松戸市地域包括支援センターからの質問事項

②講演<ひきこもり高齢者への対応>

日時：平成28年1月21日(木)18:45~20:15  
研修会名：陸前高田の在宅療養を支える会 (チームけせんの和)  
講演者：旭神経内科リハビリテーション病院 院長 旭俊臣  
講演内容：[I] 地域における認知症高齢者に対する医療介護の現状、[II] 認知症高齢者に対する医療介護の対応、[III] 今後の対策、[IV] 松戸市地域包括支援センターからの質問事項

③講演<あなたはひとりではないと伝えて欲しい>

日時：平成27年10月22日(木) 10:00~12:00  
研修会名：平成27年度 こころの健康づくり講演会 (大船渡保健所主催)  
講演者：千葉県成田市長寿院住職/NPO 法人自殺予防ネットワーク風 理事長 篠原鋭一  
講演内容：自殺予防に関して

平成27年10月23日(金) 岩手日報

◆心開かせる対応学ぶ  
気仙地区民生委員・児童委員研修会(沿岸広域振興局主催)は22日、陸前高田市高田町の市コミユニティホールで開かれた。参加者約250人が、家に閉じこもる子どもや高齢者の自殺予防につながる接し方や対応について学んだ。

NPO法人自殺防止ネットワーク風の篠原鋭一理事長(千葉県成田市長寿院住職)が「あなたはひとりではない」と題して講演。写真。経験談を交えて同じ状態は続かず、今さらくても明日は変わる可能性がある。一人ではないことを伝え、自ら動いて変化を起こす意識を持たせて」とアドバイスした。

傾聴については「意見を否定せず受け入れてから、自分の思いを伝えてほしい」と語った。



NO. 7

# おはようさん

## あけましておめでとうございます

陸前高田市復興支援連絡会は、昨年の4月から活動してまいりました。皆様の温かいご支援と励まし、ご協力のもと、新年を迎えることができ、大変ありがたく思っております。

本年度は、震災5年目を迎えます。明るい未来を願いつつ引き続き支援活動に精進してまいります。

支援員一同

本年も何卒よろしく  
お願い致します。



### ◎中間支援イベント案内

#### 『カフェ・はまかだ教室』

日時：1月26日（火） 時間：10:00～12:00

場所：滝の里仮設集会所

みんなで、お茶を飲みながら、はまって・かだって・歌を歌って、楽しいひと時を過しましょう。音楽療法士さんによる演奏と保健士さんの講話があります。

#### 『あおぞら整骨院』によるマッサージボランティア ※無料マッサージです。

① 2月14日（日）矢作6区公民館

② 2月28日（日）長部コミセン（長部漁村センター）

◆ 時間：13:30～17:00頃まで

※来場者数によって、終了時間に変動があります。

## ◎今月の催事 『第3回健康づくり教室』

1月12日（火）小友コミセンにて「第3回健康づくり教室」が開催されました。健康体操と減塩調理実習。体に良い食材を使い、完成後はみんなで試食会。

参加された皆さんは、とても良い企画なので続けて開催して欲しいと話していました。

ラジオ体操から始まり  
手足を動かす  
「脳刺激運動」→



### 減塩調理実習

メニューは、

- ・ゆかりごはん・
- ・おからサラダ・
- ・栗入り焼きつくね
- ・わかめのすまし汁



## ◎復興現場状況

気仙町



高台造成地（高田高台2）



三陸道の橋げたが、どんどん繋がってきています。長年の構想であった三陸道も実現されてきていきますね。この道が完成した暁にはどれだけの移動時間が短縮されるのでしょうか。

市役所駐車場付近から高田第一中学校の後方を眺めてみると、かつてそこに山があったとは信じられない姿になっています。これからは、ここに沢山の家が立ち並ぶこととなります。

## 編集後記

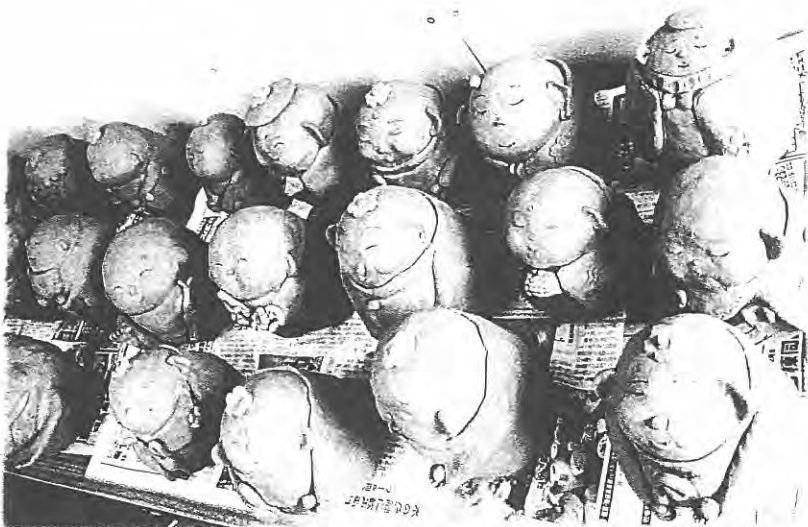
今年の正月は暖冬でしたので、雪のない初日の出を拝めた方も多い事でしょう。陽の光を浴びることは、体にも心にも良いことです。希望も湧いてきます。暖かい日は積極的に外にでて、健康第一で今年も乗り切りましょう！

皆様のご意見・ご感想を、お待ちしております。

平成 28 年 1 月 15 日発行 発行元：陸前高田市復興支援連絡会

〒029-2205 陸前高田市高田町字柝ヶ沢 58 Tel:0192-47-5741 Fax:0192-47-5742

E-mail:rikutakashien@gmail.com Face book <https://www.facebook.com/rikutakashien>



昨年の陶芸教室で、みなさんが作られたお地蔵さん

# さくらっ娘隊

## 2014年 陶芸教室 場所詳細

- 7月6日(日) ①午後1:00～ 陸前高田市立高田東中学校 調理室  
〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町神田113
- 7月7日(月) ②午前9:00～ 広水仮設住宅(旧広田水産高校仮設住宅) 集会所  
〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保124-1
- ③午後2:00～ モビリア仮設住宅 北集会所  
〒029-2207 岩手県陸前高田市小友町瀬沢155-78
- 7月8日(火) ④午前10:00～ 県立大船渡病院 会議室  
〒022-8512 岩手県大船渡市大船渡町字馬越10-1
- ⑤午後4:30～ 県立釜石病院 会議室  
〒026-8550 岩手県釜石市甲子町第10地割483-6

## さくらっ娘隊について

私達「さくらっ娘隊」は、愛知県常滑市を中心に活動する女性陶芸家の集まりです。普段は、それぞれ創作活動をしています。年に一度、グループ展を行ってまいりました。

震災後、仲間達と陶芸を通して何か力になれないかと模索してきました。2年前の夏、陸前高田で「さくらプロジェクト」—桜の木を植える運動—を立ち上げている方との出会いがあり、お願いして実現したのが、「お地蔵様の陶芸教室です。」

土に触れながら、お地蔵さんを自らの手で作ることによって、少しでも、心が穏やかになっていただけたらという想いで、これからも、続けていきたいです。

## さくらっ娘隊 —その他の活動—

今年2月、大阪の阪急百貨店で「おひな様展」を開催しました。その折、「モビリア仮設住宅 モビハハの会」と「さくらっ娘隊」のコラボで“およね袋”を発表、販売する事ができました。







減塩実践紙芝居作りに向けて話し合う陸前高田市保健推進員の有志ら

## 「NO卒中」へ紙芝居

### 減塩啓発アイテムに

陸前高田市の保健推進員の有志14人は、市健康推進課と協力して本県が死亡率全国ワーストの脳卒中予防をテーマにした減塩実践紙芝居を作っている。「任期が2年間の保健推進員同士で引き継げる物を作りたい」と企画し、2月上旬の完成を目指す。保健推進員主導の取り組みは震災後初の試みで「脳卒中は『NO卒中』」を合言葉に、内容充実へ話し合いを深めている。

#### 陸前高田市の保健推進員有志

紙芝居は減塩に向けた保健推進員の職種も多様な食事の説明や市内男性の経験談、男性の妻の取り組み、市内スパーや新聞報道による予防活動など豊富な内容を、写真や絵を交えて紹介する。

昨年10月から製作を開始。保健師や栄養士、看護師など活動に参加する

### 来月の完成目指す

同市の保健推進員は約130人いるが、7割は任期2年で交代する。今回の発起人でもある鈴木秋子市保健推進員代表は「(新しい人に)代わって引き継ぐことはもちろん良いが、いつも第一歩から始まってしまおう。つながりが陸前高田の健康に結びつけば」と力を込める。

脳卒中予防のほか、気仙地域の医療関係者でつくる劇団が行っている口腔ケアの寸劇の紙芝居化にも取り組んでいる。市健康推進課の村上有紗保健師は「自主活動の輪が広がれば健康への意識も高まる」と期待を寄せ



活動参画を呼びかけた森山さん(左)＝高田町

# 子どもの健康育もう

## 新プロジェクト発起会

陸前高田

陸前高田市の子どもたちの健康推進に向けた「Blooming TAKATA」(仮称)プロジェクト発起会は21日、高田町の市コミユニティホールで開かれた。子育て世代の親を対象とした勉強会や情報交換などを通じて、参加者同士が顔の見える関係を築き、健全やかな成長を後押しする計画。参加者は、学習会など今後具体的な取り組みを推進していくことを確認した。

プロジェクトの発起人を務めているのは、県立大船渡病院小児科医長の森山秀徳さん(38)と、高田町・吉田歯科医院副院長の吉田重之さん(33)。子どもたちの健康には支援にかかわる多職種連携が重要とされる中、市とも連携しながら協働推進のプロジェクトを立ち上げた。

医療、保健、子育て、教育など子どもにかかわる分野の関係者約30人が出席。市健康推進課から現状説明があり、1歳半や3歳半健診におけるむし歯がある子どもの割合や、3歳半健診での「肥満度15%以上」の割合が示された。いずれもほぼすべての年度で県平均を上回っている。

引き続き森山さんが講話を行い、市内の子育て環境に関しては「子どもの問題を統括する場の不足」を短所の一つに挙げた。そのうえで子育て世代の親に対する勉強会、情報交換会の開催をプロジェクトの方向性として掲げた。

吉田さんも口と歯の健康は生涯にわたり生活に密着するとし、乳幼児期からのケアの重要性を強調。栄養や食育も含めた心身の健康づくりの大切さにもふれた。

自己紹介をばさみ、名通りとなった。今後は学習会やインターネットを提案。正式名は「花を咲かせる」など、などを展開することになっている。

# 子の健康改善へ連携

陸前高田市の子どもの健康改善を目指すワーキンググループ「Bloom ing TAKATA(ブルイミングタカタ)」が21日、発足した。同市は肥満と虫歯が大きな課題。医師や子育て支援団体など幅広い分野の識者らが連携し、健やかな成長を守るための知識共有や情報発信に努める。

陸前高田



## 医師、父母ら新組織 重点課題は肥満と虫歯

発起会を同市高田町の市コミュニティホールで開き、呼び掛け人の森山秀徳(東大船渡病院小児科医長38)、吉田歯科医院(同市高田町)の吉田重之副院長(33)、父母ら約30人が出席。同市の子どもの健康状況を確認した。

森山さんは、東日本大震災後、小学1年、中学3年の子どもの肥満出現率が高くなったとの統計調査結果を紹介。吉田さんは昨年度、同市の3歳半の子の虫歯有病率が県内ワーストだったことを説明した。

同市の健康課題はほかに子どもの遊び場不足や震災遺児らの心のケアなど多岐にわたるが、専門家が不足し、連携できずにいた。

「Bloom」は英語で「花」。グループ名には「健康に育ち、

参加者に陸前高田市の子どもの健康や子育て環境について説明する森山秀徳医長(左)

陸前高田で花を咲かせ「子どもの健康のため。してほしい」との願いが込められた。今後、学習会や住民参加型勉強会、インターネットを活用した情報発信などを展開し、支援ネットワーク構築を目指す。森山さんは「全ては1」へ。

子どもの健康のため。改善できる点には協力しながら対策を取らなければならぬ」と決意を新たにする。

入会希望の団体・個人は市健康推進課(0192・54・2111)へ。

はまっぴん かねっぴん 運動推進

# 高田診療所閉所10周年記念講演会

発災後、長期に渡り地域医療を支え続けてきた岩手県医師会高田診療所は、本年3月末をもって閉所となることになりました。

そこで、5年間の支援活動を総括いただきながら、住民及び地域における身体的・精神的・社会的なリカバリーを考える機会として、下記の通り記念講演会を開催いたします。

みなさま、お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いいたします！

とき

平成28年 2月 17日 水

18:30～20:30 (開場18:10)

ところ

陸前高田市役所 4号棟 第6会議室

講演

講演1 「子どもたちのいまとこれから～グリーンサポートを通じて～」

講師 NPO法人子どもグリーンサポートステーション 大塚 光太郎氏

講演2 「心療内科から見た震災からのリカバリーとは？

～高田診療所5年間の活動から～」

座長 県立高田病院 院長 田畑 潔氏

講師 岩手医科大学 内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野

准教授 鈴木 順氏 (高田診療所心療内科)

入場料

無料

申込み

健康推進課(電話54-2111 内線241)に、  
2月12日(金)まで電話にてお申し込みください



陸前高田市

(担当：健康推進課 電話 54-2111 内線 241)



【陸前高田市 健康推進課 伊藤 宛 FAX 55-6118】

岩手県医師会高田診療所閉所に係るメモリアル講演会 参加申込書

所 属 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

次のとおりに、申し込みます。

No.	氏名		
1			
2			
3			

※資料準備の都合上、2月12日（金）までに、陸前高田市役所健康推進課に電話またはFAXにてお申し込みください。